



虹色

＝ 発行 ＝
秋田県生涯学習センター
 〒010-0955秋田市山王中島町1-1
 TEL :018-865-1171
 FAX :018-824-1799
 E-mail :sgcen002@mail2.pref.akita.jp
 編集：社会教育アドバイザー

「チョット 公民館で ボランティア」 公民館で見つけたチョコボラの種で 仲間と地域づくりをしたい



あべ十全氏と高校生のトーク

県内には200近い公民館が設置されています。社会状況の変化に伴い、「学びの場」に加えて、「地域づくり」の役割も重要視されるようになってきています。そこで、『チョコボラ』で公民館を身近なものに感じてもらい、公民館を核としたボランティアネットワークを広めよう、と実施されたのが「チョコボラ・フォーラムin潟上」です。

2月2日、飯田川公民館には、社会教育関係者をはじめ、ボランティア活動をしている秋田西高校JRC同好会、天王公民館生活学級（ぐみの会）、秋桜、有志会、蘭の会などのグループの方々、関心のある方々など約80名が集まりました。

バラエティタレントのあべ十全氏によるトークショーでは、ご自身が会長を務める『ビーンズ会』について、豆一個では何もできないが集めれば美味しい料理になると例え、思いや願いを共にする者たちが集まり、難病の患者さんたちを支援したり、被災地を支援したりしている様子が語られました。

厳しい自然の中でどうしたら人と人とが温かく生きていけるかを考え、知恵を出し合い実践していこうと会場の雰囲気盛り上がった後は、各ボランティアグループが作成したパネルを参加者同士で見回ったり、十全氏の進行で活動を紹介し合ったりして和やかな交流となりました。この機運を、2月27日に開催される「チョコボラ研修会」につなげ、今後の具体的な潟上市の実践を検討していきます（裏面参照）。

「子は親の鏡」とよく言われますが、第三十四回少年の主張秋田県大会（主催は青少年育成秋田県民会議）では、祖母の生き方に学び、前向きに生きようとする子どもたちの姿に出会いました。皆瀬中学校高橋まきさんの発表です。何でも知っていると思っっている家族の間ですが、お互いの想いを伝え合うことの大切さを感じた発表です。

（前略）春一番にはカタクリの花、季節の移ろいと共にアイコ、コゴミ、ワラビ、タケノコ…そして一年を締めくくるのは、ピカピカ光る原木ナメコ。ダムの茶屋では、皆瀬の巡り来る美しい季節がうどんと共にお客様の前に現れるのです。

祖母はまた、チマキを巻いたり、近所のトマト農家が間引きした青いトマトを使ったジャムを煮たりして店で売っています。いつもクルクルと楽しそうに働いています。

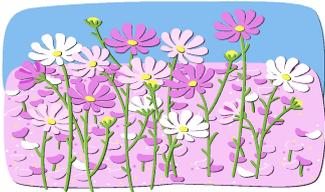


でも、ダムの茶屋は、平成二十年の岩手宮城内陸地震で、国道三九八号線が不通になって以来、お客さんが激減しているのだそうです。

「ばあちゃん、働くの嫌でない？お客さん来なかったら、悲しくない？」そう聞く私に、祖母は「まきちゃん、人間はね、その人が『置かれた場所』で頑張らなければならないの。草木が、根付いたところで、一生懸命花を咲かせ、実をつけるようにね。ばあちゃんにとっては、この『ダムの茶屋』が『置かれた場所』なの。だから、ここできてる精一杯のことをしなくちゃね。」と、笑いながら、教えてくれました。（後略）

家庭教育く孫育ち

2/19 秋田県自作視聴覚教材交流発表会



○「猛暑でコスモスの成長がよくないな〜」でも、雨の後に見つけた水滴が美しい。

細い茎に一列に並ん

だ宝石のようなしずくの一粒一粒。そこに映った庭の景色は逆さまになって見えて…おもしろい!

羽後町活動グループ『メディアバンクみるわーく』の福嶋さんは、草木や蜘蛛の巣、トンボの複眼など身近な自然に見られる水滴を撮影して楽しむばかりではなく、自然にあるようなまん丸の水滴に映る世界を作ろうと思い、「宙玉(そらだま)」をカメラに取り付けてみました。まるで少年のような好奇心と繰り返しの実験により水滴の美しい世界を再現し、自分でナレーションを吹き込み、音楽を付けDVDを制作しました。

○大仙市の神岡小学校地域支援ボランティアの佐々木さんと鈴木さんは、20年にわたる野鳥の観察をもとに、学習教材を制作しました。小学生に映像を見せるだけではなく、子ども自身が映像か

ら問いを見出し、自分で確かめるような自発的な学びを誘い出したいという願いです。声を耳にすることはあっても、その姿を見つけ、えさを捕獲する場面に出会うことは難しい今日、貴重な映像作品です。

◆発表作品を貸し出します◆

生涯学習センターにお問い合わせください。

『野鳥 たべものと体のつくり』 制作 大仙市 佐々木昭元氏・鈴木三郎氏
『皆瀬の宝〜地熱 地熱利用施設を訪ねて』 制作 皆瀬小学校6 & 4学年児童
『水滴の小さな世界』 制作 メディアバンクみるわーく 福嶋信治氏
『野中吉田人形芝居 活動の軌跡2012』 制作 メディアバンクみるわーく 菅野辰男氏 福嶋信治氏
『三関の大綱引き』 制作 メディアバンクみるわーく 小野勝氏
『悲劇の大川小学校その後』 制作 横手市 小野悟氏

展示ホール

NP0秋田千秋はすの会



千秋公園のハスを貴重な資源ととらえ、多方面からの情報を参考に様々な活動に取り組んでいるグループです。生涯学習の活動を通し、「蓮」の活用と環境問題を考えようというのがコンセプトだそうです。

2月、生涯学習センター展示ホールでは色鮮やかで繊細な手工芸作品が来館者の目を惹いています。

「蓮」をまるごと楽しもうと、蜂の巣に似た果托に和布をはめ込んだ作品、果托をひっくり返しスカートに見立てたお人形、葉や茎から採取した糸を染色した織物、その布で制作したブックカバーなどの小物作品などが並んでいます。

地域の実情に合わせた「ちょこボラ研修会」を開きます!

日時 2月27日 水曜日 午後1時〜
会場 潟上市昭和公民館
講師 秋田大学教育文化学部准教授
原 義彦先生
内容 生涯学習・社会教育の視点から、
公民館等社会教育施設を活用した
ボランティアについて学びます。

「ちょこボラ・フォーラムin潟上」では、高齢者の福祉、特別支援学校(天王みどり学園)の行事のサポート、幼稚園・保育所・小学校における読書活動の支援、中学校の家庭科の授業の補助などなど、ボランティアの活動内容が多岐にわたっていることが報告されました。

研修会を通して、公民館がつなぎ役となり、一人一人が学んだことを地域に生かし、新たなネットワーク・地域づくりとなるよう事業を推進しています。

